

TOPICS 介護人材の定着

但馬地域における介護職の職場定着支援事業（H30～R5）から見たこと

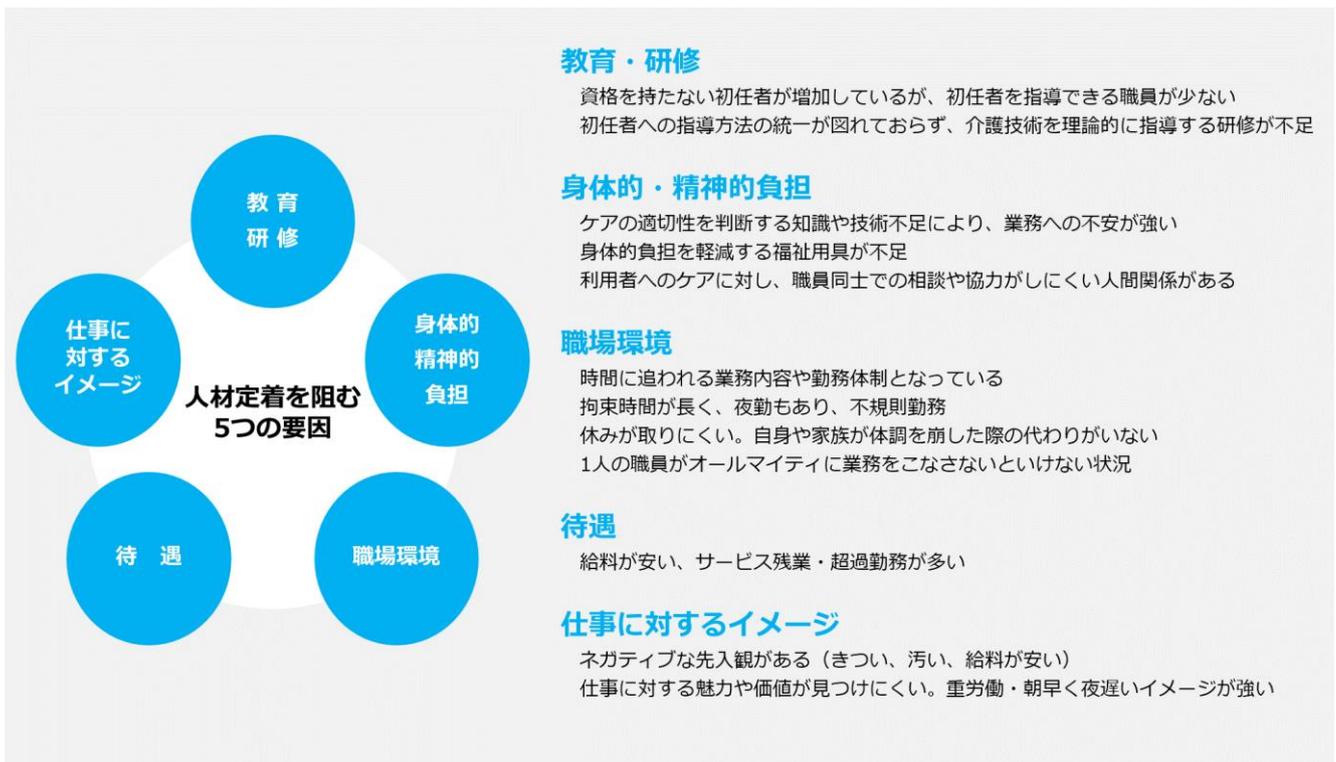
但馬長寿の郷 地域ケア課

離職者のうち約半数が入職3年未満の介護初心者

但馬長寿の郷（以下、「当郷」という。）がH30年度に実施した「介護職の離職等に関する実態調査（調査対象：特別養護老人ホーム）」では、離職者のうち約半数が入職後3年未満の初心者であることが分かり、離職の理由は「精神的な負担が大きい」、「身体的な負担が大きい」という回答が多くを占めました。

人材定着を阻害する5つの要因

前述の実態調査を基に、特別養護老人ホーム職員で構成した検討会にて人材定着を阻害する要因を整理し（図1）、そのうえで、当郷として人材定着を促進することの一助となるように身体的負担を軽減する教育・研修体制を整えるための取り組みを平成31年度よりスタートさせました。



指導者の養成・管理者向けに福祉用具導入の啓発

○身体的負担を軽減する介助技術の教材を活用し、指導方法の統一へ

まずは、初任者への指導方法の統一が図れるように、特別養護老人ホームの職員と共に介助方法の指導用教材（起居・移乗、ポジショニング、シーティング）を開発しました。そして、この教材を用いた指導者養成研修を開催しています（現在は介護技術研修の1コースとして経年開催しています）。

しかし、研修に参加した施設の中でも、指導方法の統一が図れた施設とそうでない施設に分かれていることも分かってきています。

○管理者向けに福祉用具導入に向けた普及・啓発の研修を開催

移乗用リフトや見守りセンサーなどの福祉用具の導入が進んでいなかったことから施設長などの管理者に向けて福祉用具導入の必要性を啓発する研修を実施しました。県内外の先進的な取り組みや但馬内で既に導入している施設の実践発表、福祉用具体験会を通して啓発を行っています。

県からの導入に対する補助金もあり、近年、移動用リフト、見守りセンサー、インカムなどの導入が進んでいますが、福祉用具は導入されたものの、施設の倉庫に眠り、現場での実用に至らなかった施設も少なくないことが分かりました。また、福祉用具が導入されているにも関わらず、初任者の精神的・身体的負担の軽減に繋がっていないという現状も明らかとなっています。



組織としての課題意識・改善に向けた計画が重要

上記の一連の取り組みをとおして初任者への指導方法の統一が図れたり、導入した福祉用具が活用でき、身体的な負担が軽減している施設の取り組みに共通している点が少しずつ分かってきました。

指導方法が統一できている施設では、研修に参加した職員個人ではなく、組織として課題意識を持っていること、研修受講は課題解決のための計画に盛り込まれておられました。具体的には、「指導方法の統一ができていない」という課題を持ち、課題解決に向けて研修には指導者となる中堅職員を受講させ、その職員を中心に施設内研修を実施するなど計画的に取り組まれていました。

福祉用具の導入についても、身体的な負担の軽減に繋がっている施設では、現場の課題を把握し、課題を解決するために福祉用具が選定・導入されていました。例えば、腰痛のある職員が増えてきたという課題に対して、どの介助が腰部への負担になっているのかを把握するところから取り組みを開始し、重度者の移乗が問題の場合は移動用リフトの導入、作業時の姿勢が不良になっている場合は作業台を高くするなど環境調整を行っています。

このように、単に研修を受講したり、福祉用具を導入することが介護現場における身体的・精神的負担を軽減させ、人材の定着が促されるわけではなく、施設全体の業務改善の一環として組織的かつ計画的に取り組むことが重要となることが明らかとなりました。

課題解決に向け、強力にサポートします！

当郷では今後も人材定着を促進するため、当郷で開催する研修（介護技術研修）にて指導者を養成したり、福祉用具展示場では身体的・精神的な負担を軽減するための福祉用具の展示・体験・情報提供を行います。

また、施設によっては専門的人材派遣事業※を活用して、指導者の指導スキルアップのための活用も実施しています。具体的には指導者が初任者に指導している場面を見て、指導方法に助言を行うことや、福祉用具等の導入支援、指導者が難しいと感じた利用者への介助方法（移乗介助ポジショニングやシーティングなど）についてセラピストが職員と一緒に考えるなど様々です。

皆さんの施設が課題解決に向けて取組む際、様々な形でサポートしますので、ぜひご相談ください。

※専門的人材派遣事業

社会福祉法人等と当郷で有償委託契約を締結し、当郷の理学療法士・作業療法士（専門的人材）を施設へ派遣する事業。施設での事例検討や研修を通じて介護職員に対する技術的支援を実施しています。

